



TITLE:

Utilityノ譯語ニ就イテ

AUTHOR(S):

小島, 祐馬

CITATION:

小島, 祐馬. Utilityノ譯語ニ就イテ. 經濟論叢 1917, 4(6): 900-909

ISSUE DATE:

1917-06-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127215>

RIGHT:

京都帝國大學法學大科

經濟論叢

第四卷 第六號

大正六年六月一日發行

論說

中壽ノ說(一).....	法學博士 財部 靜治
奢侈税ノ本質及其構造.....	法學博士 神戶 正雄
『座』ノ研究(三、完).....	文學博士 三浦 周行
東洋ニ於ケル古代ノ社會政策.....	瀧本 誠一

時事問題

船腹調節策.....	法學博士 戶田 海市
禁輸及關稅ニ依ル包圍攻撃.....	法學博士 神戶 正雄
米國ノ勞働缺乏ト日本移民.....	米田 庄太郎

雜錄

Ullityノ譯語ニ就イテ.....	法學士 小島 祐馬
海上保險發展史ニ關スル一異說.....	法學士 小島 昌太郎
山片幡桃ノ米價論.....	法學士 本庄 榮治郎
精神の活力ト年齡.....	法學博士 河上 肇
佛領亞弗利加植民地鐵道ノ現在及將來.....	山本 美越乃
Ch. Boothノ死ヲ聞キテ.....	法學博士 財部 靜治

雜誌

*Utility*ノ譯語ニ就イテ

小島 祐馬

*Utility*ノ譯語ニ就イテハ嘗テ京都法學會雜誌第八卷第六號ヨリ同第八號(大正二年六月一八月)ニ亘リ、河上博士ト福田博士トノ間ニ精審且ツ條利ナル辯難ガ交換セラレタ。其要領ヲ擧グレバ、河上博士ハ福田博士ガ *Utility*ヲ『利用』ト譯セラレテ居ルノニ對シ、余ハ博士ガ何故ニ『效用』テフ術語一從來用ヒ來ツタモノデ相應ニ熟シ來ツタ此ノ術語一ヲ斥ケテ、之ニ比シサマデ優レリトモ思ヘヌ此ノ『利用』ノ術語ヲ採用セラレテ居ルカ豫子テヨリ疑ヲ存シ居ル者デアル、……『效用』ナル語モ缺點モアランモ、用ヒ慣レタルコトナレバ今更之ヲ改メズトモガナト思ハルルガ果シテ如何デアラウ(京都法學會雜誌第八卷第六號)ト述べラレ、『利用』ガ『效用』ニ比シサマデ優レリト思ヘヌコトト、『效用』ガ從來『用ヒ慣レタル』モノナルコトトノ二點ヨリ、*Utility*ノ譯語ヲ『效用』ニ一定センコトヲ希望セラレタノデアツタ。然ルニ福田博士ハ之ニ答ヘテ却テ『效用』コソ必要ナキ新造語ニシテ、左迄勝レズ否却テ劣レリト言ハザルヲ得ザルヲナ覺フ(同第八卷第七號)ト言ハレ、『利用』ガ從來慣用セラレタル例證數

ケ條ヲ擧ゲラレ、且文字ノ意味ヨリ云フモ『利用』ノ方『效用』ニ比シ大ニ優ルモノアル理由ヲ述べラレ、*Utility*ノ譯語ヲ『利用』ニ一定センコトヲ主張セラレタ。是ニ於テ河上博士ハ更ニ *Utility*ノ譯語ノ沿革ニ關スル精密ナル研究ヲ發表セラレ、今日ニ於テハ『利用』ヨリモ『效用』ヲ以テ慣用語ト認ムベキモノナルコトヲ攷證セラレ、且文字ノ意義ヨリ觀ルモ『效用』ト譯スル方妥當ナルコトヲ論セラレタノデアツタ(同誌第八卷第八號)。*Utility*ノ譯語ニ關スル歴史的研究ハ阿博士ノ論文ニヨリテ既ニ盡サレタル所デアツテ、從ツテ此方面ハ余ノ今述ベント欲スル所アハナイ。余ハ茲ニ他ノ一面、即チ文字其者ノ意義ヨリ考ヘテ『利用』ト『效用』ト果シテ何レヲ採用スベキカヲ決定スル爲メニ多少ノ參考資料トナルモノヲ提供シテ見タイト思フニ過ギヌノデアアル。

*Utility*ノ譯語ノ妥當デアルカ否カラ論ズルニハ、先ヅ以テ *Utility*ノ意義ヲ確カメ、然ル後ニ譯語ノ意義ノ之ニ適應スルヤ否ヤヲ觀ナケレバナラヌ。然ルニ *Utility*ソノ者ガ今猶種々ナル意味ニ用ヒラレ、歐米ノ學界ニ在リテモ其意義未ダ確定シ居ラザル有様デアツテ、其意義ノ定メ方ニヨリテハ譯語モ多種多樣トナルベキデアルガ、元來 *Utility*ナル觀念ガ經濟學上重要視セララルニ至ツタノハ、Marginal utility

theoryノ行ハルルヤウニナツテ以後ノ事デア
リ、從ツテ經濟學上 Utilityノ意義ハ此 theory
ニ謂フ所ノ Utilityヲ以テ主要ノ觀念トシナケ
レバナナルマイト思フ。依テコ、デハ Utilityノ
意義ヲ財物ガ人間ノ欲望ヲ満足セシムル力ト云
フコトニ定メテ置イテ、サテ然ル後ニ之レガ譯
語ノ當否ヲ檢スルコトトシタイ。

Utilityノ譯語トシテ從來用ヒラレタモノハ數
種アルガ、今日最勢力アル學者ノ間ニ用ヒラレ
且問題トナツテ居ルモノハ、『利用』ト『效用』
トノ二者デアルト思フカラ、今ハ唯此ノ二者ニ
就イテ研究スルニ止メヤウト思フ。仍ツテ先ヅ
『利用』ノ語ヲ吟味シ、次ニ『效用』ニ及ブコト
トスル。

サテ利用トイフ語ハ正徳利用厚生ト連用セラ
レ、『尙書』大禹謨及ビ『左傳』文公七年ノ傳ニ見
エテ居ルノガ人ノ最ヨク知ル所デアツテ、從ツ
テ茲ニ謂フ所ノ意義ガ後世大ニ重キヲ爲スモノ
デアル。尤現在ノ『尙書』大禹謨ハ晋ノ梅賾ノ僞
作セシ古文デアツテ、『左傳』ノ如キモ其僞作ノ

一材料トセラレタモノデアルト云フコトガ、今
日經濟學者ノ間ニ殆ンド定説トナツテ居ルノデア
ルカラ、文字ノ出典トシテハ『尙書』ヨリモ先キ
ニ『左傳』ヲ舉ゲナケレバナラス。『左傳』ノ此處
ノ文ハ卻缺ト云フ者ガ夏書(逸書)ヲ引キテ述ベ
タルモノデアツテ「水火金木土穀謂之六府、正
徳利用厚生謂之三事」(文公七年傳)トアリ、
『左傳正義』ニハ其下ニ杜預ノ註モナケレバ孔穎
達ノ疏モナイ、尤孔穎達ハ此文ヲ以テ『尙書』大
禹謨ニ本ヅクモノト誤解シタルガ爲メニ其解釋
ヲ尙書ノ下ニ讓ツタモノデアラウ。然ルニ『左
傳』ノ本文ハ前文ヲ承ケテ「義而行之謂之徳
禮、無禮不樂所由叛也」(同上)トアリ、杜預
ハ其下ニ註シテ「徳、正徳也、禮以制財用之
節、又以厚生民之命」ト言ヒ、孔穎達ハ「在上
爲政、無禮則民不樂、是叛之所由」ト解シ
テ居ル。サレバ『正義』ニ從ヘバ此場合ノ利用ト
イフハ、上ニ在リテ政ヲ爲ス者ガ、人民ノ爲メ
ニ財用ノ節度ヲ宜シクスルトイフ意味ニナルノ
デアル。『左傳』ニハ猶此外ニ「民生厚而徳正、

用利而事節(成公十六年傳)ノ文アリ、又「夫民生厚而用利、於是乎正德以幅之」(襄公二十八年傳)ノ文アリテ、何レモ正德利用厚生ノ語ト表裏ヲ爲シ、利用ノ意義ヲ確メルニ必要ナル文句デアルガ、前ノ文ノ下ノ杜註ニハ、「財足則思無邪、動不_レ失利則事得其節」トアリ、孔疏ニハ「由_レ上施_二恩惠_一、故民生計豐厚也、財用有_二利益_一、而每_レ事得其節」トアリ。次ニ後ノ文ノ下ニ於テ杜註ハ「厚利皆人之所欲、唯正德可_二以爲_一之幅」ト言ヒ、孔疏ハ「人皆欲_二生計重厚而多_一財用利益、心既無_レ厭、於是乎用_二正德_一以幅之」ト言ツテ居ル。此ニ文ニヨレバ何レモ財用ノ利益アルコトヲ利用ト謂ヒ、而シテソレガ前ノ文ニ於テハ在上者ノ政治ニ關シテ言ヘルモノナルコトガ明示サレテ居ル。利用ト利用トハ正シク自動他動ノ別アルニ過ギズ、此點ヨリ考フルモ『正義』ニ解スル所ノ利用ノ意味ハ、在上者ガ財用ヲ人民ノ爲メニ利益アルヤウ調節スルコトニ外ナラヌノデア_ル。賈逵ヤ服虔ノ註ニヨレバ、右ノ三事ハ次ノ如ク解釋セラレテ居ル。(賈服ノ

註ハ阜クヨリ亡ビテ傳ハラスノデア_ルガ、其佚文ノ他書ニ散見スルモノヲ蒐輯シタ中ニ次ノ解釋ガ載ツテ居ル) 曰ハク「正德人德、利用地德、厚生天德」(『春秋左傳註』卷九引易疏、『左通補釋』卷九引周禮疏)ト。之ニ從ヘバ正德トハ人君ガ民ノ德ヲ正スコトニテ、利用トハ地ガ民ノ用ヲ利スルコト、厚生トハ天ガ民ノ生ヲ厚クスルコトデアル。即チ「正義」ニテハ三事ヲ總ベテ人君ノ事ト考ヘタノデア_ルガ、賈服ハ之ヲ天地人三才ニ割リ當テテ居ルノデア_ル。サレバ賈服ニヨレバ利用トハ地ガ人民ノ爲メニ財用ヲ利スルコトトナリ、杜預ノ言フ所ノ人君ニ代フルニ地ヲ以テシタマデ_二ンコトデ_一アツテ、何者カガ財用ヲ利益アルヤウニ調節スルト云フ意味ニ於テハ兩者ノ間ニ差別ハ存シナイノデア_ル。

次ニ『尙書』ノ大禹謨デア_ルガ、此篇ハ前ニモ述ベシ如ク僞古文デア_ルカラ、註解トシテハ『僞孔傳』ト蔡沈ノ『書經集傳』トヲ註要ナルモノトスル。先ヅ『尙書』ノ本文ヲ見ルニ、「德惟善_レ政、政在_レ養_レ民、水火金木土穀惟修、正德利用

厚生惟和」トアリ。之ヲ六府三事ト謂ヒ、皆養民ノ政トシテアツテ、先ヅ利用ガ施政上ノ一部門タルコトヲ思ハシムルノデアル。而シテ『尙書正義』ニヨレバ、正徳利用厚生ノ下ノ孔傳ニ「正徳以率下、利用以阜財、厚生以養民、三者和所謂善政」ト言ヒ、孔疏ニテハ「正身之徳、利民之用、厚民之生」ト解シ、更ニ傳ノ「利用以阜財」ヲ解シテ「利用者謂下在上節儉、不爲糜費、以利而用、使財物殷阜、利民之用、爲民興利除害不匱乏、故所以阜財、阜財謂財豐大也」ト言ツテ居ル。要ハ在上者ガ財物ヲ豊富ニシテ民ノ用ヲ利スルノ意デアル。『蔡傳』ニ於テハ利用ヲ釋シテ「利用者工作什器、商通貨財之類、所以利民之用也」トシテアル。ココニ工商ヲ言ヒテ農ヲ言ハザルハ、農ハ六府ノ中ニ盡サレタルモノトスルノデアル。是亦經文ノ意味ヨリ觀テ利用ガ單ニ商工ノ徒ノ各自ニ財用ヲ利スルノ意デハナク、爲政者カ商工ヲシテ財用ヲ通ジ民ノ用ヲ利セシムルノ意ナルコト明デアル。

之ヲ要スルニ正徳利用厚生ニ關スル一般ノ解釋ハ、『左傳』ト『尙書』トニテ多少ノ相違アリ(正徳ノ如キ)、又同一ノ經傳ノ中ニ在リテモ註釋家ニヨリテ幾分ノ異說ハ免レザルモ、其中利用ノ意義ニ就イテハ、大體ノ解釋ハ在上者ガ人民ノ爲メニ財用ヲ有利ニスルコトニ一致シテ居ルモノト見テ誤リハ無カラウト思フ。

猶『左傳』ニ見ハレタル利用ノ一例ハ、僖公二十二年ノ傳ニ、「三軍以利而用也、……利而用之阻隘可也」ノ文ガアル。杜預ハ「以利利用也」ノ下ニ單ニ「爲利興」ト註セルノミニテ、總ベテ疏ヲ闕如シテ居ルガ、安井息軒ハ之ニ註シテ「三軍以戰有利用而用之、否則止不用、……有利用而用之、阻隘之隘可也」(『左傳輯釋』ト言ヒ、中井履軒ハ「利是利害之利、謂見利而進也」(『左傳影題略』ト解シテ居ルガ、何レモ能ク傳ノ意ヲ得タルモノト思フ。此註解ニ從ヘバ、此場合ノ利用ハ前者トハ異リ、何者カガ或事ヲ利アリトシテ用フルノ意トナルノデアル。『左傳』及『尙書』ノ外經傳ノ中ニテ利用ノ文

字ノ見エテ居ルノハ『易』ノ繫辭傳デアル。先ヅ繫辭上傳ニ「利用出入、民咸用之、謂之神」トアリ。『周易正義』ニ孔穎達ハ「聖人以利而用、或出或入、使民咸用之、是聖德微妙、故云謂之神」(而一作爲)ト解シテ居ツテ、是レ聖人ガ或事物ヲ利アリトシテ用フルノ意ト解スベキガ如クデアル。程子ノ『易傳』朱子ノ『周易本義』ニハ何レモ其解ナク、來知德ノ『周易集註』ニハ「古之聖人、……利此戶之用、一出入、百姓日用而不知、則謂之神」ト註シ、聖人門戸ノ用ヲ利ニシ、民ヲシテ出入自在ナラシメタルノ意ニ解シテ居ル。卽是ニ由レバ利用トハ人ガ物ノ用ヲ利スルノ謂デアル。而シテ最後ニ李鼎祚ノ『周易集解』デハ、『乾爲利、坤爲用』ト解シ、利用ヲ以テ乾坤ト同義トスルモノデアアル。次ニ又同ジク『易』ノ繫辭下傳ニ「精義入神、以至用也、利用安身、以崇德也」ノ語ガアル。其「利用安身」云々ノ語ノ下、『正義』韓康伯ノ注ニ、「利用之道、皆安其身而後動也」ト言ヒ、孔穎達ハ「欲利己之用、先須安靜其身、不

須役其思慮、可以增崇其德」ト言ヒ、更ニ韓註ヲ解シテ「云下利用之道皆安其身而後動者、言欲利己所用、先須自安其身、身既得安、然後舉動、德乃尊崇」トアリ。『正義』ノ解スル所ニヨレバ、此場合ノ利用トハ人ガ自己ノ用フル所ヲ利益スル意ニテ、換言スレバ人ガ自己ノ行動ヲ有利ニスルコトナル。朱子ノ『本義』ニハ「利其施用、无適不安、信之極也、然乃所以爲入而崇德之資」トアリテ、其「利其施用」トハ即チ人ガ自己ノ施用ヲ宜シクスルコトニテ、其意孔疏ト合致スルモノデアアル。來知德ノ『集註』ノ說亦朱子ト同ジ。李鼎祚ノ『集解』ニ至リテハ、此場合ニモヤハリ利用ヲ以テ乾坤ニ當テ箝メテ說イテ居ルノデアアル。此外『易』ノ上下經ニハ利用ノ二字到ル處ニ用ヒラレテ居ツテ、例ヘバ蒙ノ初六ニ「發蒙利、用刑人」トイヒ、益ノ初九ニ「利用爲大作」トアル如クソレデアアル。然ルニ此場合ノ用ハ以ノ字ト同義デアツテ、之ヲ採リテ利用ト熟スルコトハ殆ンドナキ筈ナレバ、茲ニハ其意味ノ穿鑿ニ

ハ及バヌコトトスル。

經傳ニ見ハレタル利用ノ意味ハ大略以上ノ如キモノデアルガ、ココニ以上述べタルモノトハ多少趣ヲ異ニセル利用ノ字ノ用例ガアル。ソレハ『莊子』ノ郭象ノ註デアル。外篇在宥篇ノ「焉知_レ晉史之_レ不_レ爲_二桀跖嚙失_一也」ノ郭註ニ、「晉史爲_二桀跖之利用_一也」トアリ、成玄英ノ疏ニハ「聖智是竊國之具、仁義爲_二凶暴之資_一晉史爲_二桀跖利用_一」トアル、卽晉參_二史魚_一ノ如キ仁義聖智ハ、桀王ヤ盜跖ノ利用スル所トノ意デアツテ、換言スレバ桀跖ガ晉史ノ仁智ニ因ツテ自己ノ用ヲ利スルト云フコトデアル。コノ場合ノ利用ハ元來人ガ他ノ財物ヲ以テ自己ノ用ヲ利スルノ意ヨリ出デタルモノデアルガ、獨財物ノミナラズ、他人ヲ利用スル、自己ノ地位ヲ利用スルトイフガ如ク、廣キ意味ヲ持ツコトトナリ、同時ニソレニ不道德的ノ意味ノ加ハツタノハ此頃カラノ事カト思フ。(郭象ハ六朝ノ晉ノ人デアル、尤郭象ノ莊子註ハ向秀ノ註ヲ盜シタト言ハレテ居ルガ、向秀モヤハリ晉人ナレバ大體時代ハ變ラヌノデ

アル)。

此外古代ニ於ケル利用ノ用例一二ヲ示セバ、『漢書』ノ薛宣傳ニ、「性密靜有_レ思、……………下至_二財用筆研_一、皆爲設_二方略_一、利_レ用而省_二費_一」トアリ。コレハ薛宣ガ財物ノ用ヲ利ニシタト云フコトニテ、『易』ノ「利用出入、民咸用_レ之」ノ來知德ノ解釋ト同意義ニ用ヒラレタルモノデアル。又魏ノ阮籍ノ『通易論』ニ「庖犧氏當_二天地一終_一、值_二人物憔悴_一、利用不_レ存、法制夷昧、神明之德不_レ通、萬物之情不_レ類、於是始作_二八卦_一」(皮錫瑞『易經通論』引)トアリ。此ノ利用ハ聖人ガ民ノ爲メニ財用ヲ利スルノ意デアツテ、『尚書』ヤ『左傳』ノ正徳利用厚生ノ場合ト同義ニ解スベキモノト思フ。終リニ近人ノ用例一二ヲ示サウナラバ、先ヅ孫詒讓ガ其ノ『周禮政要』ニ於テ「考工攻金_二六齊之說_一、以_二金錫_一相和爲_レ器、此化合以_レ利用也」(治金)ト言ヒ、又「且多鑄_二對開四開之小洋_一以_レ利用」(金布)ト言ヘル如キ、又張之洞ガ『勸學篇』中ニ「先察_二知何器利_一用、何貨易_レ銷何物宜_レ變_二新式_一、……………然後命_二工師_一思_二新法_一、

創「新器、以供「商之取求、是商爲「主、工爲「使也」(農工商學第九)ト言ヘル如キ、何レモ皆人ガ其物ノ用ヲ利スルノ意ニ解スベキモノデアル。但張之洞ノ「何器利「用」云々ハ多少疑議ヲ挿ムモノモアランカト思フ故、一言説明ヲ加ヘテ置クガ、是レハ如何ナル器物ハ人之ガ用ヲ利スルニ適スルカ、如何ナル貨物ハ人之ガ之ヲ消耗シ易キカ、如何ナル物ハ人之ガ之ヲ新式ニ改ムベキカノ意デ、此場合人ト云フ主格ガ略セラレテ居ルコトヲ忘レテハナラヌノデアル。

其他一々例證ヲ舉ゲテ居テハ際限ナキコトデアルガ古人ノ用法ハ大抵以上述ブルモノノ何レカニ該當スルモノデアルト思フ。扱以上述ブル所ハ甚繁雜デアルガ、之ヲ要約スレバ文字ノ本來ノ意味ヨリ觀テ、利用トハ人(若クハ他ノ人格者)ガ事物ノ用ヲ利スルノ謂デアツテ、事物ガ人ノ用ヲ利スルノ謂デハナイ。從ツテ Utilityヲ以テ財物ガ人ノ欲望ヲ満足セシムル力ト解スル以上、之ヲ利用ト譯スルハ妥當デナイト云フコト最早多言ヲ要セザル所デアル。

尤茲ニ一ツノ例外ノアルノハ、河上博士モ前述ノ論文ニテ指摘セラレシ嚴復ノ用例デアル。嚴復ハあだむ・すみすノ「Welth of nation」ヲ抄譯セル「原富」ノ中ニ其第一卷第四章 Origin and use of moneyノ終ニ近キ部分ヲ譯シテ、「言物之貴ニ有ニ義ニ焉、有ニ以ニ利用ニ言者、有ニ以ニ交易ニ言者、物毎有ニ利用甚宏、生事所「不「可「無、而「不「可「以「相「易、空氣水土是已、亦有「易權甚大、而利用蓋微、珠璣寶石是已」(「原富」篇五首部)ト言ヒ、又其名學引論第五節ニ「夫物物爭「存、而存者必有「其所「以「存、使「名學常存不「廢、則名學之爲「利用「可「知」(「嚴幾道文鈔」)ト言ツテ居ル。前ノ利用ハ正シク Utilityヲ譯出シタルモノデアツテ、後ノ利用モ亦 Utilityノ意味デ用ヒタルモノデアラウト思ハレル。然ルニ是レハ支那古來一般ノ用例トハ相反スルモノデアツテ、文字ノ出典カラ考ヘタナラバ間違ツタ用法デアラウト思フ。現ニ嚴復モ他ノ場合ニ於テハ利用ヲ一般ノ用例ニ從ヒテ用ヒテ居ルコトガ多い。其二三ノ例ヲ示セバ、曰ハク「唯西人謂修

身事^レ帝、必以^レ安^レ生利^レ用爲^レ基」(『嚴幾道文鈔』救亡決論)ト。曰ハク「東方所^ニ利用^一之西方教育學、當^ニ以此爲^ニ第一^一也」(同書譯衡西琴中國教育議)ト。又曰ハク「所^ニ幸中國有^ニ至大之心理學家、所^ニ謂生民未^レ有者、可^ニ以利用^一、則孔子是也」(同上)ト。此等ノ文ニ用フル所ノ利用ハ、是^レ Utility ノ意味トナシテハ其解ヲ得ズ、必ズヤ以上述べ來リタル固有ノ意義ニテ使用シタルモノデアラウ。

以上「利用」トイフ文字ガ Utility ノ譯語トシテ不當ナルコトヲ述ベタルデアルガ、若シ然ラバ Utility ノ譯語トシテ「利用」ヨリモ更ニ勢力ヲ有スル「效用」ヲフ文字ガ果シテ妥當ナルモノナリヤ否ヤ、以下少シク之ニ就イテ述ベテ見タイト思フノデアル。『效用』ノ出典ニ就テハ余ノ淺學ナル未ダ之ヲ經傳ノ中ニ於テ見出スコトヲ得ナイノデアル。余ノ知レル範圍ニ於テ其最古キモノハ「後漢書」种岱傳ニ、「雖^ニ未^ニ建^ニ忠效^一、用、而爲^ニ聖恩所^ニ拔、遐邇俱瞻、宜^ニ有^ニ異賞^一」トアルノガソレデアル。此場合ノ效用トイフハ、人

ガ國家ノ爲メニ用ヲ效スノ意味デアル。唐ノ獨孤及ノ詩ニ、「少年當^ニ效^ニ用、遠道豈辭^ニ難^一」(佩文韻府引)トアルノモ、亦同様ノ意味デアル。

新シキ用例ニ「三」ヲ舉グレバ、張之洞ハ「論軒語」ノ中ニ、「上者效^ニ用於國家、其次亦不失^ニ爲^ニ端人雅士^一」(語學)トイヒ、章炳麟ノ「楹書」ノ中ニハ「效^ニ用於漢^一」(儒道)ト言ヒ、又「章太炎文鈔」ニハ「其學術雖^ニ勝^ニ於前、然有^ニ不^ニ爲^ニ政府^一效^ニ用者^ニ乎^一」(卷一俱分進化論)ノ句アルガ如キ、其效用ノ意味ハ皆同一デアル。尤爲メニ用ヲ效ス目的物ハ或ハ國家デアルコトアリ、社會デアルコトアリ、或ハ君主或ハ政府ト、場合ニヨツテ異ルコトアルモ、其用ヲ效ス意味ニ於テハ彼是同ジコトデアル。而シテ此ノ效用ニハコノ意味以外別ノ意味ニ使用セラレテ居ルコトヲ嘗テ觀タコトガナイノデアル。

扱效用ノ效ハ固ヨリ致スノ意味デアツテ、「效致也」トカ「效猶^ニ致也^一」トカトイフ訓詁ハ「左傳」「國策」「史記」「漢書」等ニ多ク散見シテ居ル所デアル。サレバ效用ト言フ代リニ、致用ト言ツ

テモ亦同義ヲアツテ、カカル用法モ隨分多イ。
 中ニモ「通經致用」ナドト云フ語ハ、支那ノ學者ノ常套語デアツテ、是レハ經學ニ精通シテ國家ノ用ヲ致スノ義デアル。張之洞ノ如キ「輶軒語」ノ中ニ、「讀書期於明理、明理歸於致用」(語學)ト言ヒ、又「勸學篇」ニモ「中學考古非
要、致用爲要」(序)ナドト言ヒ、效用ト致用トヲ同意義ニ使ツテ居ル。又孫詒讓ノ「周禮政
要」ニモ、「凡學成而能致用者、則俾觀政於工部」(致工)トアリ。其致用モヤハリ是レ效用ト同ジク人ガ國家若クハ社會ノ爲メニ其能力ヲ盡スコトヲ言ツタモノデアル。此外致用ノ用例ハ「易」ノ繫辭上傳ニ「備物致用、立成器」トアリ、同下傳ニ「精義人神、以致用也」トアリ、又「左傳」莊公二十九年ノ傳ニハ「火見而致用」ナドアツテ、此等ノ意味ハ前述ノモノトハ違ウノデアルガ、ココデハ致用ノ意義ヲ一々穿鑿スルノガ主眼デナイノデアルカラ、此等ノ説明ハ省略シ、唯致用ト效用ハ同義ニ用フルコトガアルトイフコトヲ確メテ置イテ、更ニ説明ヲ進メ

ル必要上、今一ツ致用ノ用例ニ就イテ看遁スベカラザルモノヲ擧ゲルコトトスル。ソレハ「荀子」ノ王制ニ在ル所ノ「故澤人足乎木、山人足乎魚、農夫不斲削、不陶冶而足械用、工賈不耕田而足菽粟、故虎豹爲猛矣、然君子剝而用之、故天之所覆、地之所載、莫不豐其美、致其用」ノ文デアル。此場合ノ致用ハ楊倞ノ註ニ、「物皆豐其美、而來爲人用也」トアリテ、物ガ人ニ役立ツコトヲイフモノデアル。卽此致用ノ意味コソ「三才圖會」ノ意味ニヨク適應スルモノトイフコトガ出來ヤウト思フ。扱效用ノ用例ニ就テハ、未ダ荀子ノ所謂致用ノ如キモノヲ見出サザルハ甚ダ遺憾デアルガ、併シ前ニ君國ノ爲メニ力ヲ盡ス意味ニ於テハ、效用ト致用ト全ク同様ニ用ヒラルコトヲ明ニシ得タノデアルカラ、物ガ人ノ用ニ役立ツ能力ヲ指ス場合ニ於テ、嘗テ用例ナキ效用ヲ、嘗テ用例アル致用ト同様ノ意味ニ用ヒテ行クト云フコトハ、已ムヲ得ザル場合ノ造語トシテハ、甚シキ不條理ノコトトモ言ヘナイト思フノデアル。殊ニ獨致用ノ場合

ノミナラズ、人ノ政治上ノ活動ヲ表ハス文字ヲ以テ、財物ノ能力ヲ示ス文字トシテ用フルコトハ、他ニモ其例ノアルコトニテ、例ヘバ功用ノ文字ノ如キ、『史記』ニハ「乃試_ニ之位_ニ典_ニ職_ニ數_ニ十年_ニ、功用既興、然後授_レ政_ニ」(伯夷傳)トアツテ、人ノ勦ニ就イテ述ベタモノヲ、『漢書』ニハ「所以順_ニ時宣_ニ氣_ニ、蕃_ニ阜庶物_ニ、蓄_ニ足功用_ニ、如此之備也」(貨殖傳序)ト言ヒ、全ク財物ノ勦トシテ用ヒタルガ如キ用例アルニ於テハ、猶更荀子ニ謂フ如キ致用ノ意味ヲ含マセタル『效用』ノ術語ヲ作ルトイフコトヲ道理付ケルコトガ出來ヤウカト思フ。

此ニ由ツテ之ヲ觀ルニ、『效用』トイフ譯語モ文字本來ノ意義ヨリ見テ決シテUtilityノ意味ニ全然適應シタモノト言フコトハ出來ナイノデアツテ、新ニ譯語ヲ選定スル場合デアツタナラバ、今少シ訪求ノ餘地ナキカト思フノデアルガ、之ヲ『利用』テフ譯語ト比較シテ文字ノ意義上其優劣ヲ定メントナラバ、ソハ效用ノ利用ニ優ルコト數等デアルト思フ。何トナレバ兩者トモニ

現在譯語トシテ使用シテ居ル意味ニ於テハ、正確ナル出處ヲ缺グコトハ同一デアルモ、造語ノ上ヨリ考ヘテ、『利用』ハ他ニ紛ハシキ意味アリ、且之ヲUtilityノ譯語トスルニ就イテ相當ノ根據ヲ缺グニ反シ、『效用』ハ他ニ紛ハシキ虞ナク、且Utilityノ譯語トスルニ就イテ相當ノ根據ヲ有スルガ爲メデアル、冒頭ニ引用セシ如ク河上博士ガ『效用』ナル語モ缺點ハアランモ「云々トイハレ、且『利用』ヲ以テ『效用』ニ比シ「サマデ優レリトモ思ヘヌ」ト云ハレタハ、至極穩健ナル見解デアルト思フノデアル。

猶『利用』ト『效用』トノ以外ニ於テ、如何ナル文字カ果シテUtilityノ譯語トシテ最適當ナルモノナルカトイフコトヲ、今少シク述ベテ見タイノデアルガ、是レハ從來「用ヒ慣レタル」『效用』ガ字義ノ上ヨリ觀テモ甚シキ不都合ナキ以上、實際上ニハ最早必要ナキ穿鑿デアリ、且此上無味乾燥ナル引用語ヲ臚列スルコトモ如何ト思フガ故ニ、今ハ姑ク省略ニ從フコトトスル。